

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|------------|
| ・理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| ・安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| ・サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 事業所名 | 医療法人 昭和会 昭和会病院 グループホーム新地 |
| (ユニット名) | |
| 所在地 (県・市町村名) | 長崎市新地町6番3号 |
| 記入者名 (管理者) | 平野 博子 |
| 記入日 | 平成 19年 10月 16日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---|
| 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>住み慣れた地域の中で、安心した暮らしのご提供が出来るように、入所者おひとりおひとりのニーズにあった家庭的で過ごしやすい環境を提供し、地域の一員としての関わり合う事を理念として掲げさせてもらっています。</p> | <p>現在、自治会の班長を引き受けており、今後も積極的に地域との交流に取り組みたいと考えています。</p> |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>施設内に理念の提示を行い、毎朝申し送りの後に提唱しています。また、ケアプラン作成時やカンファレンス時などにおいて、根本にある理念を重視して、反映させ実践に生かしております。</p> | <p>基本理念は重要であり、管理者及び職員間で常に検討を行いながら、誰の為の理念であるか常に意識しながら、今後も毎日の支援に継続し生かしていく必要があると考え継続しております。</p> |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>事業所のパンフレットにも、理念をわかりやすく明記し、多くの人々に理解が得られるようにしています。また、家族会や自治会、運営推進会議、ボランティアなど外部の支援を受ける時も、わかりやすく理念や事業所の役割などの説明を行い、理解を得てもらっております。</p> | <p>今後も、グループホーム新地としての理念の提供を地域の人々に判りやすく、機会があるごとに浸透して行く事を継続していきたいと思っております。</p> |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>自治会の班長などとしており、回覧板などの配布時に挨拶や会話をしたり、近所の買い物に出かける際に、挨拶など交わっています。また、自治会の会員の方がスーパーの店長や店舗の方が多く、近隣の方々との交流を深めさせていただいております。</p> | <p>施設管理者や職員は、近隣の人との関係は出来ていると思います。今後も気軽に声掛け合ったりして関係を良くしていきたいと思います。</p> |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>近隣の方々との関わり合いとしては、催しへの招待や施設への訪問を通して行い、近隣の保育園の方にも公園などに寄った際に寄っていただくように声かけを行っています。また、買い物などご入所者と外出する際など、積極的に挨拶をしています。ご入所者のご家族以外の方との関わり合いも持っております。</p> | <p>市民大清掃などに参加したりと、地域の方との関わりを持っていますが、介助が必要なご入所者の方が多く、今後の検討課題であります。また、小学生や動物などの介入など試験的に関わりを持っていますが、検討課題であります。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 自治会の開催時にパンフレットの配布を行い、グループホーム事業所の理解を深めていただいています。また、経営者研修や他のグループホームの研修生の受け入れなども行い人材育成の貢献に役立たせていただいています。 | | 開設して、1年半経過し地域に貢献する事を検討していきたいと考えております。現在検討課題ではありますが、ご家族や地域の方との介護教室など行いたいと考えておりますが、個人情報の保護やプライバシーの保護の観点から、躊躇しているのが現状です |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価など半年に1回、職員全員で話し合い、グループホームの改善すべき事や評価すべき事など積極的に行い、また結果については運営者にも評価内容など確認話し合いなど行っております。 | | 月に1回は、グループホーム会議を行い、常に自分達のグループホームのあり方など検討しています。今後も継続して、皆で話し合いながら、より良いグループホームを目指したいと考えております。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 本年度から、2ヶ月に1回の運営推進会議を設けています。行政の職員、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長、家族代表者など交え行っており、今年からグループホームの行事や催しなどに参加いただき、生きたグループホームを見ていただこうと計画しています。様々な場面での施設の取り組みなど、意見や評価を頂き話し合いの中から常にサービスの向上を心がけています。 | | 今後も、運営推進会議のみでなく、行事や催しを通してグループホームご入所者・ご家族の理解を深め、人の持つ強さや弱さ、支援や助言など、職員には見えない部分がある為、今後も継続していきたいと考えています。また、生きたグループホームをどう表現していくか工夫していきたいと思えます。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市との協議は個人では困難であり、運営推進会議の参加や担当職員と電話にて連絡する程度です。また、グループホーム連絡協議会会議などで質の向上に努めており、市や県への要望など連絡協議会として相談報告など行っています。 | | グループホームより、運営やサービス、諸処遇解決など一緒に協議する事は、困難と考えられます。今後もグループホーム連絡協議会を通して、解決し質の向上に努めております。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 現在、権利擁護については、研修会の参加や母体病院での研修などに参加しております。実際の利用においても、その都度関係者と連携をとりながら支援を行っております。 | | 今後、利用されるご入所者が出てきた場合に、制度の理解は必要と考えています。研修会などの参加を促し、いま以上熟知していきたいと考えております。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待行為やそれに準ずる行為は、決してあってはならない事であり、職員全員が理解し注意しております。また、多少の問題でもヒヤリハット報告書を提出し、会議など開催しており最善の注意を払っています。高齢者虐待防止法などの冊子、マニュアルを置いており、職員がいつでも確認などできるようにしております。 | | 今後も、高齢者虐待防止法などの理解を深め、職員同士が口を閉ざさないよう法律の理解と通報の必要性など、速やかに対応できるよう、グループホーム会議や勉強会などで理解を深めて行きます。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|-----|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | | <p>入所に当たっては、利用料金や入院時などの施設の対応などについての説明を行っています。また、医療連携体制や重度化、看取りについての説明も現在行っており、今後も不安がないように入所者様やご家族に十分な説明を心がけていく所存です。退所に関しても十分な説明や不安解消など、相談に応じており、今後も継続していきます。</p> |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | <p>今までは、其々が活動していたのが現状ですが、やっとなご家族の方々の会の結成が出来、活動を行っているところです。今後も意見箱の活用をしたり家族会や運営推進会などでの意見交換や助言を頂いたり継続して行きたいと考えております。ご入所者の方々も、意見が言いやすいような環境整備や職員とのつながりを継続して行きたいと考えております。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | | <p>開かれたグループホームを目指しており、ご入所者やそのご家族など情報交換や施設内のご様子など何時でも何処でも確認が出来るように情報の開示も行っています。今後も、其々が話し合ったり、書面でのやり取りを行ったりと密に接していく事が必要で継続させていきたいと思っております。また、金銭に関しても出納帳や領収書などで確認を行い継続していきます。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | <p>今までは、其々が活動していたのが現状でしたが、やっとなご家族会の結成が出来、今から活動を行っているところです。今後も意見箱の活用をしたりご家族会や運営推進会などでの意見交換や助言を頂いたり継続して行きます。ご入所者の方々も、意見が言いやすいような環境整備や職員とのつながりを継続して行きます。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | | <p>意見が出しやすいような体制をとっておりますが、質の向上の面からも、将来は代表者や管理者がいても意見が出しやすいような環境設定を行うために、普段からの職員との対話や相談など積極的に信頼関係の構築を図っていく所存です。</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|---|------|---|
| 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | ご利用者の日常生活に臨機応変に対応できるように、管理者や看護師の通常の勤務を、出来る限り通常のシフトに入れないようにしております。また、職員の希望に沿っての休日の配分や、急な対応が可能になるような人員の配置にしております。 | | 介護の質の向上面からも、職員人材が重要であるために余裕のある勤務体制にしております。また職員一人一人のモチベーションを高められるような職場にしていきます。 |
| 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの関係の面からも、勤務異動によるご入所者やご家族の負担が大きいものになるために、極力努力はしておりますが、職員本人の希望によつての離職は仕方がないために、その場合は、ご入所者やご家族への配慮を行っております。 | | 職員が継続して勤務できるように、職員への相談・対応など行い努力し、やむを得ず離職や勤務異動する場合は十分な期間と引継ぎを行っており、ご入所者やご家族の方々にご迷惑がかからないようにしていきます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|-----|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 施設内では、月に1回の勉強会を行ったり、外部研修資料を提供したり、希望する研修の受講を受けております。また、研修受講した職員からの報告会や勉強会など、知識や情報の伝達、職能の向上に努めております。 | | 新人教育や病院研修、また他のグループホームの見学など職員の意欲につなげられるように今後も継続していく方針です。また、研修の報告により、全職員が理解できるように専門職からの意見やスーパーバイザーの意見なども取り入れています。 |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 長崎市にグループホーム連絡協議会があり、在宅部長など積極的に参加しています。また管理者はじめ職員も各研修会や会議など参加しており、他のグループホーム同士の相互協力や職種同士の集まりもあり楽しんで参加させてもらっています。 | | 研修会に参加する事で、他のグループホーム職員との交流を通して楽しんでおり、積極的に勉強会などに参加させていただいております。 |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 代表者は、ホーム訪問時に管理者や職員に接しており、必要時面談など行っております。また、食事やおやつ時間時に利用者や職員と話をしたりするなど短時間ではありますが、気分転換など図っております。 | | 職員の休憩室が無く、事務所に15分程度の休憩を取っていますが、なかなか時間が取れないことが現状です。入所者のおやつ時間に一緒にお茶をしたりしていますが、入所者の要件が多く休む時間がないのも現状です。今後の課題です。 |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員が自分なりに目標を持ち、勤務意欲ややりがいなど持てるように、個人面談を行ったりしています。また、身体面の支援として勤務時間の確認や内容などの把握、健康診断などによって把握するように努めています。常日頃から職員と関わったり管理者、主任からの連絡報告により、配慮や工夫をしています。 | | 各自が向上心をもてるように、研修会への希望参加や勤務体制に配慮しています。また労働条件など、就業規則に沿って指導を行っています。 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 初回面接において、入所予定者御本人と話をしたり、ご家族とも別の日を設けて、各自の思いなど聴取するように心がけ、納得のいくまで御相談に応じています。また、ご家族の思いを知った上での面談を行う事で家族間の調整など図る事が出来、おひとりおひとりに合った方法で、理解や信頼関係が出来るように努力しております。 | | 初回面接では、ご入所希望者の思いなど十分に知る事は困難です。しかし、面談を重ねる事で本人を受け止めていく努力は惜しまないようにしています。 |
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 初回面接では、十分にご入所希望者やご家族の思いを完全に伺う事は出来ません。ご家族が困っている事や不安な事などを受け止め、ご入所希望者様の思いを理解し、状況の把握に努め、今何が必要なのか検討しながら初回面接を行っております。また、相互理解が出来るように努力しております。 | | 家族関係の構築も重要で信頼関係の基盤になります。今後も初回面接や相談時など、ご家族とも話しやすい雰囲気や必要な情報提供などを行い、不安解消や必要なニーズの追求に努めていきます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|------|--|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談内容に応じて、緊急性の判断も行い、調整を行っています。担当のケアマネジャーや地域包括支援センターと情報交換などを行い、状況の把握に努めています。また、必要に応じ、他のグループホーム、特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養病床などの情報提供や紹介など行っています。 | | 相談内容によっては、グループホームの適応でない場合など、必要なニーズのサービス調整を行っております。 |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入所申し込みの前には、必ずご入所希望者及びご家族に来所頂き、施設の見学や説明を行い、施設の内容や理念など、理解納得の上での入所を行っています。 | | 今後の住家となるグループホームを納得の上で入所していただく事が必要となってきます。認知症で環境の変化に伴い、入所退所を繰り返す事によって悪化する事も懸念材料の為に、不安や問題点など十分に話し合いや説明を行い、入所者ご本人様やご家族にとって安心できる施設となりたいと思っております。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 支援する側される側の立場も重要ですが、グループホームという家庭の中で支援するものにとって、職員と言うより家族の一員であり、ともに楽しみ、学びながらお互いが協働でき、人間的つながりを持ってともに過ごしています。 | | ご入所者が安心して楽しく生活が出来るように、ご入所者に寄り添ってともに生活をしていく事が大切であり、今後も一方的な関係になるのではなく、ご入所者同士、ご入所者と職員同士ともに暮らしていく事を念頭に今後も取り組んで行きたいと考えております。 |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ご入所者やそのご家族の想いに出来る限り寄り添う事で、情報の交換を行い、ご入所者に対しての想いや共感などを通して、預かっている預けているなどの関係ではなく、共同体として楽しんだり悲しんだり、お互い相談をしながらともに介護をしています。 | | 今後もご入所者やご家族に寄り添いながら、良好な関係を保ちお互いが介護や生活を充実する事が出来るようにご入所者またご家族との関係を継続させていただきます。 |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 広報誌によってグループホームの理解を得たり、面会時に近況報告や電話にての相談や報告など、適宜に情報交換を行い、ご入所者の状態や状況など把握できるようにしています。また、行事に関しては積極的に参加をお願いして、入所者やご家族の交流が滞らないように努力をしています。ご家族の支援の御希望に添えるように、耳を傾けています。 | | 現在の施設において、ご家族が協力的で行事の参加も殆ど全員参加されております。今後もご入所者やご家族の支援が出来るように努力をしていきます。 |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご入所者やご家族の希望にて、美容院や通院など以前と同様に行っており、外出や外泊、外食などもおこなってもらっております。また、デイサービスにきているご友人やご近所に住んでいたご友人などの訪問もあり、馴染みの関係が継続的に行えるように支援しています。 | | 現在、ご入所者様から外出のご希望が殆どないために、今後は目標を立て、ご友人に会いにいけるような支援も行って行きたいと考えております。 |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ご入所者同士性格上合わない方もおり、環境や関係調整を職員が行ったりしています。また、職員がその関係性についての理解や情報の共有化を行い、ご入所者同士が、より良い関係を保てるように支援を行っています。 | | 生活の場でのいざこざによる精神的負担は大きいもので、認知症により感情のみ残存する可能性が高いため、ご入所者やご家族においても関係性の成立は重要なものとなってきます。今後も職員での細心の注意は必要であり、今後もご入所者やご家族間の関係性の調整を行っていく所存です。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------|--|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 現在の所は、退所後在宅へ帰るケースは少なく、病院入院のケースが多く退所後も関わり、再入所やその他施設などへの相談に乗ったり、入院先の地域連携室やケースワーカー、病棟スタッフとも連携をとっています。 | | 退所後在宅希望者につきましては、担当のケアマネジャーや入院であれば、病棟師長やケースワーカーと連携をとり、相談が適宜出来るように、長期継続的支援が受けられるようにしております。相談の内容や目的に応じて、いつ何処で誰に相談すればいいのか明確にするようにしております。 |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | お一人お一人のニーズに応じていくためには、十分なアセスメントが必要であり、話した内容については冰山の一角であり、その中からご入所者の方の意図や本心、また行動や態度からも汲み取って、ご家族との会話からも伺える事も多いため、意志や希望などを把握するように努力しています。現在、入所者個人個人での担当制にしており、入所者の方が話しやすい事や情報が収集しやすいような体制にしており、適宜カンファレンスを行い、情報の共有化などにより入所者本意の生活に近づけるような取り組みを行っています。 | | ご入所者が望む生活に近づけるように、入所者に寄り添って本心が出せるようする事が重要です。そのためには、本人が話す意志や希望以外にも、把握できるように今後も努力が必要であり、カンファレンス以外にも職員研修を通して、職員の人間性を豊かにする事も必要で、入所者にとっても有益であると考えております。 |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所によって馴染みの関係が壊される事が大きく、生活環境に影響してくる為に、これまでの生活歴が重要となります。また、家族・友人・知人からの情報も必要で、あらゆる方からのアセスメントが鍵となってきますが、プライバシーなどに十分気をつけて、アセスメントの実施には当たっております。 | | 生まれてきてからこれまでの一人の人間としての生活歴が、重要になっており、生活していく意欲にもつながってきています。十分なアセスメントを本人を初めご家族、ご友人、知人や民生委員の方など、かかわりのある人からの情報を今後もアセスメントしていく事が重要です。 |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ご入所者の基準的な暮らし方は決まっていますが、自室で過ごしたり趣味を生かして折り紙をしたり、畳に横になったりと入所者が過ごしたいようにしています。また、バイタルサインや健康状態の観察、食事量、排泄、睡眠状態、精神状態などフォローアップし、心身ともに健康できるように総合的に把握しています。 | | ケアプランに沿って個別的に支援を行っており、健康で楽しく生活出来るように今後も身体状況の把握(健康状態、往診の結果、総合的な状態把握など...)や精神状態の安定に努めていく方針です。また、ケアプランに上げているように入所者のもつストレンクスに着目して行きたいと考えております。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ケアプランに関してはアセスメントが重要で、ご入所者以外にもご家族、ご友人、知人の方などの情報やケア会議によって、主治医やそれぞれの意見など話し合うことによって、気づきや要望などを介護計画にも反映させております。また、本年度より職員も担当制にして、個人を深く理解していく取り組みを行っております。 | | ケアプランに沿って個別的に支援を行っていますが、日々の申し送りの中であったり、カンファレンスであったり話合う場を設けておりご本人やご家族のご意向など介護計画に反映させる努力をしており、今後も継続して行きます。 |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎日の日課において、気づきをモニタリングしており、介護計画書の変更など行っております。緊急時はカンファレンスを行い、連絡ノートを活用し、職員全員にわかりやすく対応できるように工夫しています。また、ご入所者やご家族との話し合いが必要な場合は、ケア会議や訪問時に相談など行っており、細やかな介護計画を展開しています。 | | 毎日の中での気づきや問題点など状態に合わせて、モニタリングを行っていましたが、認知症という日動変動がある中で、介護計画に振り回される点で問題点があったために、今回から総合評価として月に1~2回程度毎に職員の気づきやケアについてのアイデアなど、ご本人やご家族職員などとの話し合いを持ちながら、介護計画を充実させたいと考えているところです。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|-----|---|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別ファイルに、食事、排泄、バイタルサインなど健康状態の記載のほかに、ご入所者の方の表情や言葉、エピソードなどの精神的社会的側面からの記載も行って総合的に評価しております。また、職員の気づきなど明確に出来るように担当性にしており、よりよいアセスメントや馴染みの関係を作り、ご入所者の方の意欲などを引き出すようにしております。 | | ご本人の個人ファイルを作成して、職員が何時でも記入したり見やすいようにしています。(但し、外部の人から個人情報が見えないようにしております) |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 小規模多機能施設のような機能はありませんが、出来るだけご希望に添えるように対応を検討しております。遠方から来られたり、ご希望があれば宿泊できるような体制にしております。 | | 現在、グループホーム内でリハビリ訓練(前頭葉訓練、身体機能訓練)や物作りや歌、体操などを取り入れ行っております。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 運営推進会議の役員に民生委員の方などのご協力を得たり、警察署と緊急時の連絡先の確認など行ってもらっております。また大学生や地域のボランティアの方の協力支援を受けています。本年度は参加しておりませんが、保育園の運動会の見学会も昨年度は行うなど地域の方々のご協力を頂いております。 | | ボランティアの受け入れについては、今後も継続して行き地域との連携を図り、多様なサービス資源としても協働していきたいと考えております。 |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 長崎市高齢福祉サービスの老人福祉カード利用で、様々なサービス利用を行ったり、長崎市緑化事業部などに問い合わせ、許可がある公園などの花見など利用させてもらっております。 | | 運営推進会議にて、すこやか支援課の方などの助言を頂いたり地域や行政に対して、アンテナを張り巡らしながらご入所者がよりよく生活出来るように、今後一層の努力を惜しまない覚悟でございます。 |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に行政や地域包括支援センターの方など参加して頂いており、総合的に権利擁護や成年後見人制度などについても支援協力など受けやすくなっており、地域との関わり合いも進めております。 | | 今後も地域包括支援センターなどや地域を通して、行政やサービス事業所などとも連携をとって介護保険外サービスの活用を行います。 |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご入所者やご家族からご希望いただいた医師(主治医)に、月に1回の往診を受けております。また、その他のかかりつけ医につきましては、ご家族の支援をうけ受診いただいております。訪問歯科診療や訪問眼科診療も受けており、緊急時の対応も主治医に報告指示を受け、常勤の看護師との連携を図っております。 | | 往診以外の受診につきましては、原則的にご家族に依頼しておりますが、状況にあわせて対応しており、必要時は看護師が同行し病状の把握や指示など受けており、今後も継続して行きます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------|--|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 殆どは医師(主治医)の判断にて、認知症に関して診察治療や指導を受けておりますが、心療内科医の診断や治療も受けており連携をとっております。 | | 現在の主治医に関して連携が取れており、問題はありません。しかし、今後認知症の悪化した場合には、心療内科などの専門医の受診を積極的に行い認知症の進行防止や介護に役立たせていこうと思います。 |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 常勤の看護師が、病状の観察や主治医の指示に従って処置や服薬管理など行い、病状やその他生活上の問題など把握し、夜間なども電話や緊急訪問などの対応を行っています。 | | 開設当初より看護師の配置がなされており、病状の観察や予防そのた医療行為などについて、主治医との連携も取れており今後も継続して行きます。 |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | グループホームより入院した場合は、医療機関に対して情報交換を行い、治療や入院生活がスムーズになるような支援を行っております。入院中の面会や退院時の情報交換などについても、医療機関や地域連携室と退院へ向けての支援など医療機関との連携を行っております。 | | 在宅(グループホーム)と医療機関(入院中の病院など)との連携が、退院後の生活を左右する事も多いために、入院から退院まで医療関係者やご家族との連携を今後もって行きたいと考えております。 |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入所時において、重度化にかかわる指針など書面にて説明、承諾を頂いております。また、重度化した場合にはご本人やご家族の気持ちや思いなども勘案して、主治医とも連携をとりご入所者様にとって、良き方向へと話し合いによって方針の一致を行っております。 | | 入所開設してまだ日が浅く、重度化したご入所者の例が無く、ホーム内での最期をご希望した場合に、どのように対応していくのか戸惑いはありますが、それぞれの思いが納得のいくように話し合いによって解決していく所存です。 |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | ご本人やご家族の気持ちを出来る限り優先していきますが、施設内で出来る事出来ない事などあるために、納得がいくように其々が話し合いによって支援しております。 | | 病状末期入所者や重度化した入所者の例がありませんが、常時介護や看護が必要になった場合に、ご家族が病院同様のサービスを希望された場合には対応しかねます。しかし、ご本人やご家族のご希望に添えるように、主治医と相談しながら検討していこうと考えております。 |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ホームから転居する事は、ご入所者にとって負担が大きく、認知症の悪化につながる為に、障害を最小限に抑えられるように、細やかな情報の提供や、留意点などについて情報の交換や連携を行っております。 | | ホームから転居していく際には、情報提供書などや話し合いによって情報交換を行っております。今後もご家族や転居先とも情報の交換を行いながら、ダメージを防止していきたいと思っております。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|---|
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>一人の人間として尊厳が保たれるように、誇りやプライバシーについてはマニュアル作成し、職員は目を通しております。また研修会など参加し個人研鑽に努めている。</p> | <p>ご入所者にとって、プライバシーの侵害の境界線が明確でなく、ご入所者自身からプライバシーに関する事など話される時は、必要時は個別相談を行い、職員が配慮しながら人間としての価値や尊厳を保てるように今後も行っていきます。</p> |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>ご入所者が自分自身で意思決定などできるように、買い物に同行したり、レクレーション時の決定(希望する歌名・内容など)を行ったり、行事食などに好みを聞き、食事内容を決定したり、お茶の時間の飲み物を自分で選んだり、些細な事でも本人が決定できる場面を意図的に作っています。</p> | <p>視力障害者や聴力障害者など意志の疎通や決定の困難なご入所者については、文字を利用したり、具体的内容で判りやすく説明したりして、ご本人の言葉だけでなく表情や反応を見ながら、ご本人のご希望に添えるように今後も支援していきたく思っております。</p> |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>ホームの基本的な生活パターンはありますが、昼寝をしたり、友達と静かに違う場所で話をしたり、畳で横になったり、部屋に戻ったり、できる限りご希望に沿いながら生活していただいております。</p> | <p>個人個人の生活をご希望通りに行う事を目標にしておりますが、其々の状態に応じケアプランに沿いながら支援を行っております。今後も一人一人に沿った支援を状態に合わせて行きたいと考えております。</p> |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>日常の衣服の選択は、ご入所者が選んでおり、行事の際は着替えたりお化粧をしたりと日常の生活にメリハリをつけて、季節や行事の内容など理解できるものにしております。理美容についても、本人が希望し家族と一緒にパーマなどあてに外出しております。</p> | <p>ご入所者のご希望により、外出し美容室へ行ったりと身だしなみやおしゃれを気にかけております。自分自身で、帽子を選んだりして楽しんでいる方もいらっしゃり、できる限り個人が楽しみながら身だしなみを整えられるようにしております。</p> |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>一日の食事やおやつは、楽しみにしている内容のひとつです。ご入所者同士、職員も一緒に食事をとり、食事をしながら楽しいひとときの時間を過ごしております。食事時間については、個人差がありご入所者の方に合わせて、楽しく、時間をかけても食事量をしっかり取れるようにと心がけております。</p> | <p>もっと食事を楽しみたいと、バイキング方式や外食、またはご入所者の方の自慢の手料理など検討しておりますが、まだ検討段階で実際には行っておりません。</p> |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>お茶の時間などは、本人が希望する飲み物の提供をしております。飲酒の習慣がない方がほとんどで、飲酒は行っていませんが、一人一人の嗜好など職員は理解しており、ご希望に添えるようにしております。</p> | <p>現在、ご入所者の方の体調や季節、時間に応じての対応を行っております。ご入所者の方のご希望に沿っているつもりではありますが、飲酒や喫煙のご希望者が入所した場合は、再検討を行いたいと思っております。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|-----|--|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 入所時に、排泄時間や内容(種類や尿意の有無など)のチェックを行い排泄パターンの検討など行った結果に基づき、尿意便意など訴えない時は、誘導を行っています。紙オムツ使用にてのリスクが高い為に、認知症の悪化も考える事から行きたいときに行き、行かない方には、誘導などを行い排泄を出来る限りトイレで行なえるようにしております | | オムツ使用による悪影響が高く、尿路感染症の原因や、尿意や意欲、食欲まで奪ってしまいます。金銭的にも費用がかかり、ご入所の方には弊害が多く今後も、食事前後や行動前など職員が注意して排泄を促して行きます。 |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 月曜日から土曜日までの入浴日の設定を行ってもらい、ある程度は曜日の設定をしております。但し、決まった曜日に希望されない時は臨機応変に曜日の設定を変更しております。但し、認知症による入浴拒否される場合があるときは、職員が上手く誘導して入浴していただいております。入所者のプライバシーの問題もあり、介助が必要な方には、一人の介助でお一人づつの入浴をしていただき、ゆっくりと安心して入浴が出来るような体制をとっております。 | | 現在のご入所者は、殆どが介助が必要であり、極力一人でしていただいております。しかし入浴介助に危険が伴う場合は、説明納得の上で2人で介助に入り、その際のプライバシーの保持には十分注意しております。 |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 出来る限り生活のリズムが壊れないように、休息・外出・帰室など、入所者の状態など観察を行いながら支援をしております。 | | 入所前からのアセスメントを通して、本人の生活のリズムなどを知り体調や健康状態、栄養、排泄、服薬などとの関連性も考慮して、今後も継続した支援を行っていきます。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | アセスメント上からのご本人の様子を伺い、趣味や思考などからホームでの生活に意欲や喜びが持てるよう支援を行っています。また、ホームで新たな喜びの発見や役割によって、日常生活を楽しめるものにしてあります。 | | 行事などに関しても、自分自身が役割を持つ事で、共に笑い楽しむ仲間や家族との協働作業による楽しみなど、今後も計画していきます。 |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 一人一人が、小額ではありますが自己管理できるようにしており、希望があれば一緒に買い物に出かけたり購入してきたりしております。 | | 紛失や物取られ妄想などもあり、ご家族からお預かりした金銭を職員が管理し、必要時に渡したり購入時に支払ったりしております。特にご入所者の方は、ご不自由には感じておりませんのでこのままの管理方法にて継続支援して行きます。 |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩や買い物など天候やご入所者の方の状態に合わせて支援させていただいております。また、遠足など屋外に出かけたりして気分転換もかねて支援しております。 | | 外出が好みでない方もいる為に、全員での外出は出来ませんがご入所の方のご希望に沿って支援していきたいと思っております。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご入所者やご家族のご希望によって、外出や外食など行っており、また普段では行けないところなど、できる限り皆で外出しております。 | | ご入所者の方の体調も考え、移動時間1時間以内ではありますが外出しております。現在、ご家族も一緒に遠出したりしておりませんので、今後の計画に検討して行きたいと考えております。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----|---|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話を一人でかける事が出来る方がいない為に自発的には行えず、介助にて支援しています。年賀状や暑中見舞いなどはがきを書いたりして、ご家族や友人とのやり取りをしております。 | | ご家族やご友人、以前ご近所に住んでいた方などの面会が多いため、電話をかける事が少ないようです。しかし、季節に応じて、ご入所の方が自分なりに出来る事、例えば葉書を送ったりしており、今後も継続して行きます。 |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | ご家族、ご友人、ご近所の方などの訪問が多く、入所者の方の状態に応じて、リビングや居室、談話室などで面会を行っております。 | | 訪問による受け入れに対しては問題ないと考えますが、今後の方向性としては、ご入所の方が友人宅などを訪問できるような支援が出来れば、行動範囲の幅が広がりご入所者の方の生活の張りが出てくるのではと考えております。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関しましては、マニュアルなど職員が何時でも見れる場所においており、職員の意識付けや言動の確認になるようにしております。また、職員も定例会や勉強会に応じて研修を受けております。 | | 身体拘束はあってはならないことであるために、十分な熟知が必要です。職員同士の気づきや注意などお互いが確認できるように今後一層努力してまいります。 |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中においては、施錠はしておりません。2階、3階の部屋など、行ったり来たりできるようになっております。 | | 夜間に関しては、立地条件、環境の事を考えセコムでの施錠を行っており、今後も継続して安全確保してまいります。 |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 昼間はリビングにいる事が多いために、職員配置を調整しながら様子など把握したり安全に配慮しています。 | | 身近に職員が何時でもいるような体制をとっておりますので、緊急時の対処などできるようにしております。また、トイレや入浴など個人のプライバシーなど特に気をつけ、配慮を怠らないようにしています。 |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 刺激物や人体に害を及ぼす危険物については、保管場所に入れています。食器洗剤やその他の日用品については個人個人に合わせて必要なものは身近においております。 | | 消毒液、塩素漂白剤、トイレ用品などの人体に影響を及ぼすものについては、保管場所の徹底を行い安全に生活出来るようにしており、今後も継続して行きます。 |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 緊急災害時のマニュアルなど作成し、自己防止にも注意しています。また、事故に至らないケースについてもヒヤリハット報告書、ヒヤリハット委員会など開催し、事故が発生しない、また事故が発生した場合の迅速な対応が出来るようにあらゆる事故防止に取り組んでいます。 | | 事故防止に関しては、ヒヤリハット報告書など作成し、月に1回の委員会で対策など検討しています。また、防火訓練や緊急連絡網などの体制をとり、職員が知識を学習し日々取り組んでいます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|------|---|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 全職員が、年に1回の緊急時の対応など研修会に出席しています。また、消防署からの救命講習会にも全員が参加し普通救命講習修了証をとっており定期的に参加しています。 | | 実際の訓練を行うために、効果的であり今後も継続して行きます。 |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 全職員が、年に1回の緊急時の対応など研修会に出席しています。また、消防署からの救命講習会に全員が参加し普通救命講習を受け、定期的に参加しています。消防訓練時などは、近隣や民生委員・自治会などに連絡し住民の理解などを得ています。災害時の物品や準備などはマニュアルがあり、常日頃から準備しています。 | | 緊急災害時の連絡網(職員、民生委員など)の充実と家族への連絡網の配布を行い、迅速な対応を心がけています。 |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 入所時に、特に夜間について巡視しておりますが、転倒のリスクが高い事や、外出させることでのリスクなど説明をしており、ご入所者やご家族に納得のいくように話し合いをしています。 | | 抑圧感のない生活を送る為には、相当のリスクが考えられます。しかし、リスクを予測したり、個別計画に沿ってリスクの軽減を図る事は出来る為に、事故発生しないように注意していきたいと思っております。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 各勤務の申し送り時に状態の報告や、毎日看護師によってバイタルサインのチェックや状態の把握を行っており、緊急時の主治医との連携をとっており早期発見に努めています。 | | 夜勤帯の状態の変化に対しては、申し送りなどによって状態変化の進行の予測など看護師などによって報告がなされており、主治医との連携もとれており、今後も継続していきます。 |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人一人の個人ファイルに服薬の効能や副作用など明記しており、誰が見ても判りやすく、間違いがないようにしています。 | | 服薬一つでも、副作用による症状など認知症の悪化のような錯覚や、高齢の為に服薬の体内蓄積もあり、常に変化などの確認を行う必要があるために医療福祉スタッフの連携も継続させていただきます。 |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 便秘の原因除去の為に、水分の補給や、繊維のある食材など工夫しております。特に、炊飯時に寒天をいれ便秘解消を図り、下剤の服用量も徐々に少なくしており自然排便を心がけております。 | | 一日の摂取水分量も1300mlを基本に摂取させる工夫を行っており、食事のみでなく運動療法なども取り入れ工夫しております。 |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食事前の手洗いの励行から、食後の歯磨きと一連の行為を入所者は、強制される事無く行っております。また、口腔内の清潔保持の為に義歯の洗浄も個別指導して、清潔に心がけております。 | | 口腔内の清潔や義歯の手入れは、肺炎予防にもつながり全身状態の変化にも重要となっております。必要時には、訪問歯科診療を受けており、指導も出来る体制にしております。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|--|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事に関しては、一日の総カロリー計算もされ、また水分も1300ml摂取していただいております。またおやつについても工夫しております。食事量のチェックを毎食行い、食量が少ない方や問題がある方などについては、申し送りし早急に対応しております。 | | 食事を美味しく頂く事が、体内の栄養吸収によく、活力になるために、個別に工夫しております。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症のマニュアルがあり、職員が何時でも確認できるようにしてあります。また、感染症対策委員会も設けており、会議の参加や行政からの感染症などの交付資料など季節ごとの注意なども心がけ、職員全員に通達しております。毎年、インフルエンザの予防注射を行い、必ず職員も予防注射をしております。 | | 職員が媒介者にならない事が基本であり、職員の健康管理や料理時の手洗いや爪などの衛生上に注意しながら、今後も研修会行政資料など参考にして、ご入所者の方との対応に努めていきます。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理の前も同様であるが、全ての行為の前後は手洗い(爪の手入れも)の励行に努めています。食器や調理器具に関しては、食器乾燥機を利用したり熱湯消毒を行っています。フィンやまな板など塩素系漂白剤の使用可能なものは、毎回又は一日に1回行っています。台所の床などの掃除も毎日行っており清潔に努めております。冷蔵庫の掃除、消毒に関しては1週間に1回は行っており食中毒の予防に努めております。 | | 四季を問わず食中毒の発生があり、集団的に重度化する事も考えられる為、今後も重視していきます。また、多発発生時期などに行政からの通達がある度に、職員にも伝達し意識づけております。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 他事業所共通の出入口の為に、できるだけ家庭的雰囲気をとプランターや表示など暖かいものになるように工夫しております。施錠していない為に、何時でも気軽に出入りできるようにしております。 | | グループホームの玄関前に、ご入所者の展示品やプランターなどの植物を置いたり工夫をしています。 |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共同の生活空間につきましては、季節感が味わえる展示品や毎月ご入所者の方が作ったカレンダーなどを置いてあり、また音楽なども希望したものや気に入ったものを流しております。又、テレビもご入所者の方の希望でのチャンネル設定できるようになっております。リビングと台所がとなりであり、食事などの匂いがして食事の時間を感知でき、家庭の雰囲気が漂うようにしております。 | | リビングが公園や車道に隣接しており、おくんちやランタン祭りなどの行事を身近で体験したり聞いたりする事が出来るために、地域の環境を利用していこうと思います。 |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関や廊下などに椅子を置き、気に入った仲間や個人で落ち着く環境をつくり、リビングにおいても数人でいられるソファや畳の場所など、ソファや家具で調整しております。 | | 気のあった仲間や個人で一人になる空間など持てるように、共同の場所でも必要であると考えております。ご入所者の方の相性なども考慮しております。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|------|--|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入所時などには、馴染みの家具や品物など持参してもらい環境の変化に対応できるように工夫しております。また、品物が少ないご入所者につきましては、家庭的な雰囲気になるように努力しております。 | | 環境の変化によって認知症の悪化につながったり、帰宅願望が強い方の悪化につながってくる為に、できる限りご自宅の物を持参していただいております。 |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 環境整備につきましては、衛生上の問題もあり、1週間に1回は換気扇などの掃除を行っております。また、室内の温度設定も外気温より5度以内での対応しており、廊下や室内の温度も注意して調整を行っております。 | | 浴室やトイレなど肌を露出するような場所におきましては特に、外気温の差に気をつけ、冷暖房の調整を行っております。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下など歩行器や車椅子が介助者がいても通りやすいように十分な広さにしていたり、歩行自立できるように、廊下に手摺を付けております。また、車椅子の方でも洗面が出来るような洗面所を設けており、清潔や保清が楽に行えるよう(自立しやすいよう)にしております。 | | 現在視力障害者の方が居り、点字による歩行誘導がないために、慣れるまで手摺などに手で触れて判るようなものなどを工夫して、自立かつ安全に生活出来るように工夫しながら環境を整備しております。 |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | トイレや浴室、居室などわかりやすいようにドアの色や部屋なども花の表示にて、自己確認が出来るようにしています。また、それでも対応できない方は、カンファレンスなど行い、個別の対応をしております。 | | ご入所者の方の混乱や失敗は、個人個人で相違があるために、カンファレンスを通してなど、原因の確認を行った上で、本人のストレンクスが発揮できるように支援をしていく事が重要です。 |
| 87 | 建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ビルの一角にあるために、利用できるものに制限はありますが、草花など植えたり、植木鉢に水槍などして楽しんでおります。 | | 建物の環境構造から外回りやベランダの利用に制限があるために、目の前の公園の利用をしております。天候の良いときなどは公園で日向ぼっこなどをして、外部の人や空気、景色など楽しんでおります。 |

サービスの成果に関する項目

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|--|-----------------------|--|
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

訪問診療、運動機能訓練、前頭葉機能訓練（ドリルや音読など）、レクリエーション、体操、歌など、主治医、理学療法士、看護師、介護福祉士、介護職員などの連携